

とくしゅう てしまちようちよう
特集 手島町長2期目発進!!



プロフィール
てしま あきら
手島 旭
しょう わ ねん がつ にち う
昭和41年9月5日生まれの56
さい しょう わ ねん おびひろさんじょうこうこう
歳。昭和60年に帯広三条高校
を卒業後、 芽室町役場に奉職。
へいせい ねん き かくざいせい か ちよう
平成17年 企画財政課長
へいせい ねん さんぎようしんこう か ちよう
平成22年 産業振興課長
へいせい ねん のうりん か ちよう へ
平成24年 農林課長を経て、
へいせい ねん ちようちようせん ほつとうせん
平成30年の町長選で初当選し、
こんかい さいせん き め むか
今回の再選で2期目を迎えた。

たい わ しん らい こう どう じ だい
対話・信頼・行動で次代へ！
かがや つづ
輝き続けるまち めむろ

まちかどで聞きました。こんなことに期待します！

50代 主婦

えきまえ か もの じゅう
駅前でのお買い物がもっと充
実し、ひと通りの買い物ができ
るようになってほしい。車のな
い人でも用が足せるようになれ
ばいいなと思います。

40代 農業

のうぎよう せいつう
農業にも精通されていて、そ
れでいて気さくな手島町長には
信頼と安心がある。これまであ
まりなかった外に向けた町のP
Rに取り組みまれており、より一
層力を入れて芽室を売り込んで
ほしい。

10代 高校生

ほんどおり
本通にはシャッターが閉まっ
ていたり、古くなっている建物
が多い。シャッターを開けてに
ぎやかにしてほしい。カラオケ
やショッピングモールなど立ち
寄れる場所・娯楽がほしい。

7月10日の町長選挙で再選を果
たした手島町長。

2期目の抱負、そして、公約の
実現に向けた決意をお聞きました。

喫緊の課題に全力投球

まずは世界情勢の中で原材料や
燃料等の物価高騰が産業に及ぼす
影響が大きくなっている。国や北
海道への対応の働きかけとともに、
町としても現状をしっかりと伝え、
当面の課題になにができるか、し
っかり考えて取り組みたい。

対話・信頼・行動

就任以来ブレない私の理念。
まちづくりや町民の皆さんのた
めに「行動」し、成果を残すため
は町民との「信頼」関係がベースと
なり、信頼を得るには「対話」が大
切だと考えている。

コロナ禍にあつてなかなか直接
町民の皆さんと対話をする機会が
確保できなかったが、70人が参加
してくれた「オンライン」での「め
むろ未来ミーティング」など、非
接触の方法も駆使しながら対話の
機会も増やしていきたい。
幅広い世代の皆さんに参加でき

る手法として伝えていきたい。

5つの重点課題

2期目に向けて7つの分野、66
項目の政策を掲げさせていただ
いたが、中でも次の5つの項目につ
いて、大きな課題意識をもって積
極的に取り組みたい。

- 農業分野のDXを含むDX（デ
ジタルトランスフォーメーシ
ョン）の推進
- まちなか再生
- 子どもの医療費助成や30人学級
実現などの子育て支援
- 新工業団地の造成と物流ハブ機
能への取り組み
- ふるさと納税を3倍に

1期目から取り組んできた新嵐
山改革や公立芽室病院の医療体制
充実と経営安定化にも引き続き力
を入れていきたい。

すべては町民の皆さまの
生き活きとした

暮らしのために
2期目となり、目に見える成果
を上げていかなければならない。

ここでいう成果とは、町民の皆さ
んお一人お一人が、このまちで活
き活きと暮らしていくことにつな
がること。

また、人口減少の中、民間の皆
さんや域外の方々と交流・関係に
つなげる取り組みを進め、芽室町
のまちづくりや町民の皆さんのよ
りよい暮らしに結びつけることに
今後も積極的に取り組んでいく。
先日のもちなか再生フォーラム
の中でも「20年後のめむろを考え
よう」と言ったように、自分の任
務だけでは解決できない課題もた
くさんあるが、中長期的な課題に
もしっかりと取り組めるよう選挙
公約を総合計画に溶け込ませ、評
価・見直しをしながら継続性のあ
る取り組みとしていきたい。
着実に成果を積み重ねて、次の
代の子どもたちに輝き続けるまち
めむろを残していきたい。

さ の としゆきふくちようちよう せん にん
佐野寿行副町長を選任

がつ にち てしまちようちよう ふく
7月22日、手島町長は副
町長に佐野寿行副町長を再
度選任し、芽室町議会臨時
会議での同意を求め、可決
されました。



プロフィール

しょう わ ねん がつ さい しょう わ ねん
昭和39年5月14日生まれの58歳。昭和58年に
め むろちようやく ば ほうしよく すいとう か ちよう ぼ けんふくし か ちよう
芽室町役場に奉職。出納課長、保健福祉課長、
き かくざいせい か ちよう へ へいせい ねん ふくちようちよう せん にん
企画財政課長を経て、平成30年に副町長に選任。

80代 女性

こん ぞ うんてん
今後運転できなくなったときの、交通
手段が不安。そういった心配をすること
なく、年配の町内の高齢者が集える場所
の充実を図ってほしい。
わかも の そと ひと よ こ だい じ
若者や外の人の呼び込みも大事だが、
じ もと あい しんあらしやま ひ づつ め ざ
地元に愛される新嵐山も引き続き目指し
てほしい。

特集

手島町長 2 期目発進!!

まちづくりの7つの分野、66の取り組み

1

新型コロナウイルス感染症対策

- 支援の基本方針

幅広い分野への対策

ワクチン接種
- 国・道の支援が届かない部分へ

芽室町特有の課題へ

短・長期両方見据え「波のような」支援

2

産業・観光振興

- ◆農業・林業
- 担い手支援と労働力の確保

農業の応援団づくりと食農教育の具体的実践

『農業DX（デジタル変革）構想』実現

『（仮称）デジタルアメダス』の試行と普及

農畜産物の消費拡大に向けた取り組み

計画的・効果的な土地改良事業の実施

（国営事業・道営事業・団体営事業）

耕地防風林造成支援対策の継続と広域的対策の具体的実施

森林環境譲与税を活用した森林の計画的な維持管理

◆

商工業

- キャッシュレス決済・地域通貨（Mカード）推進

まちなかイベント、集いの場の創出

新工業団地造成と物流ハブ機能への取り組み

◆

観光（関係・交流人口の創出）

- 新嵐山活用計画の点検・見直し、魅力発信の継続

芽室公園の魅力を活かした活用

日高山脈国立公園化と連動した広域的な観光振興

町内外の観光スポットルート化

3

教育・学習、スポーツ・文化

- ◆学校教育
- 「めむろ未来学」推進で郷土愛醸成

特別支援教育など多様な教育的ニーズへの対応充実

コミュニティ・スクールの充実

G I G Aスクール推進と小中学校30人学級の実現

課外学習環境の整備

◆

社会教育（生涯学習、青少年健全育成、文化、

- スポーツ）

高齢者等活き活き推進事業

『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進

ジモト大学の積極的推進

発祥の地ゲートボール普及強化

温水プール建設、周辺施設充実で健康増進

図書館への電子図書導入、デジタル化推進

少年団・部活動の指導体制充実

4

保健・医療・福祉、子育て支援

- ◆保健・医療
- 特定健診受診率向上の取り組み

地域包括ケアシステムの構築と推進

公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化

◆

子育て支援・児童福祉

- 不妊治療への助成強化

妊娠・出産・育児と健やかな発達を促す体制の充実

子ども医療費助成を高校生まで拡大

保育所待機児童ゼロの継続と保育体制・環境の整備

町内での病児保育実施

ヤングケアラーの実態把握と困窮世帯への対応

ブレない理念

対話・信頼・行動で次代へ！

輝き続けるまち めむろ

◆

福祉（地域福祉・高齢者福祉・介護保険・障

- がい者福祉）

高齢者の健康・体力づくり強化

重度化防止、自立支援に向けた介護基盤整備

高齢者関連施設の環境整備（IATN設置支援）

発達支援から障がい者就労、地域生活支援体制の充実

5

安全安心のまち、生活環境の整備、

再生エネルギー

- ◆防災
- 地域防災の推進と災害訓練の実施

防災資機材の整備と迅速・的確な情報伝達

◆

生活環境（住環境（公園・公営住宅・道路・

- ごみ処理・上下水道）

公営住宅の整備

車両センターの移転改築

地域公共交通機関（特に「高齢者の足」）の確保

ごみの減量化に向けた継続した取り組み

公衆浴場の安定的確保

合同納骨塚の検討と斎場の早期整備

農村地域における安全安心な生活用水等の供給

◆

ゼロカーボン・再生エネルギー

- 「芽室町地球温暖化防止実行計画」の策定

家畜ふん尿など農業廃棄物を活用した再生エネルギー化

公共施設への再生エネルギー導入計画確立

6

住民参加、地域コミュニティ

- ◆情報公開・広聴・町民参加・地域コミュニティ
- SNS 等による情報公開や広聴手法の充実

町民参加機会の多様化

町内会加入促進と活動活性化支援

地域コミュニティの拠点「地域集会施設」の整備・更新

7

まちづくり

◆

賑わい、応援団づくり

- まちなか再生

「芽室町地域・行政経営システム」の推進

ふるさと納税を3倍に

交流・関係人口の増加「芽室町の応援団づくり」

◆

公共施設と行政推進

- 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設のあり方

町有財産の有効な利活用

『自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）』推進



あつまれ！18,091人！

まちのうごき

7月15日

めむろーど

芽室町功労賞等表彰式が行われました



7月15日は芽室町の開町記念日でした。この日、芽室町の自治、社会福祉等の発展に顕著な功績のあった皆さんに「芽室町功績と栄誉をたたえる条例」に基づき表彰状の贈呈が行われました。芽室町発展のために尽くされた多くの先人たちに敬意を表し、ふるさと芽室を再確認する大事な一日となりました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

7月26日

芽室町役場

地域活性化センターとの連携協定を締結



一般財団法人地域活性化センター（椎川忍理事長）と芽室町が「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」を締結しました。同センターと自治体との連携協定は36例目で、道内の「町村」では初めての連携協定となりました。これまで2人の職員が同センターで経験を積んでいますが、町職員のみならず、町民の皆さまの人材育成にもつながる取り組みを展開し、まちづくりにつなげたいと考えています。

6月30日

地域おこし協力隊

丸山達也さん、地域おこし協力隊を退任



健康福祉課に所属の地域おこし協力隊丸山達也さんが6月30日をもって退任しました。令和2年9月の着任以降、障がいのある皆さんの自立に向けて、生活体験住宅での暮らしや一般就労に向けたサポート、そして、受け入れ企業様との調整などに尽力してきました。退任後も町内の障がい福祉事業所で引き続き働く障がい者の支援を続けている丸山さん。1年10か月間、大変お疲れさまでした。

7月23日

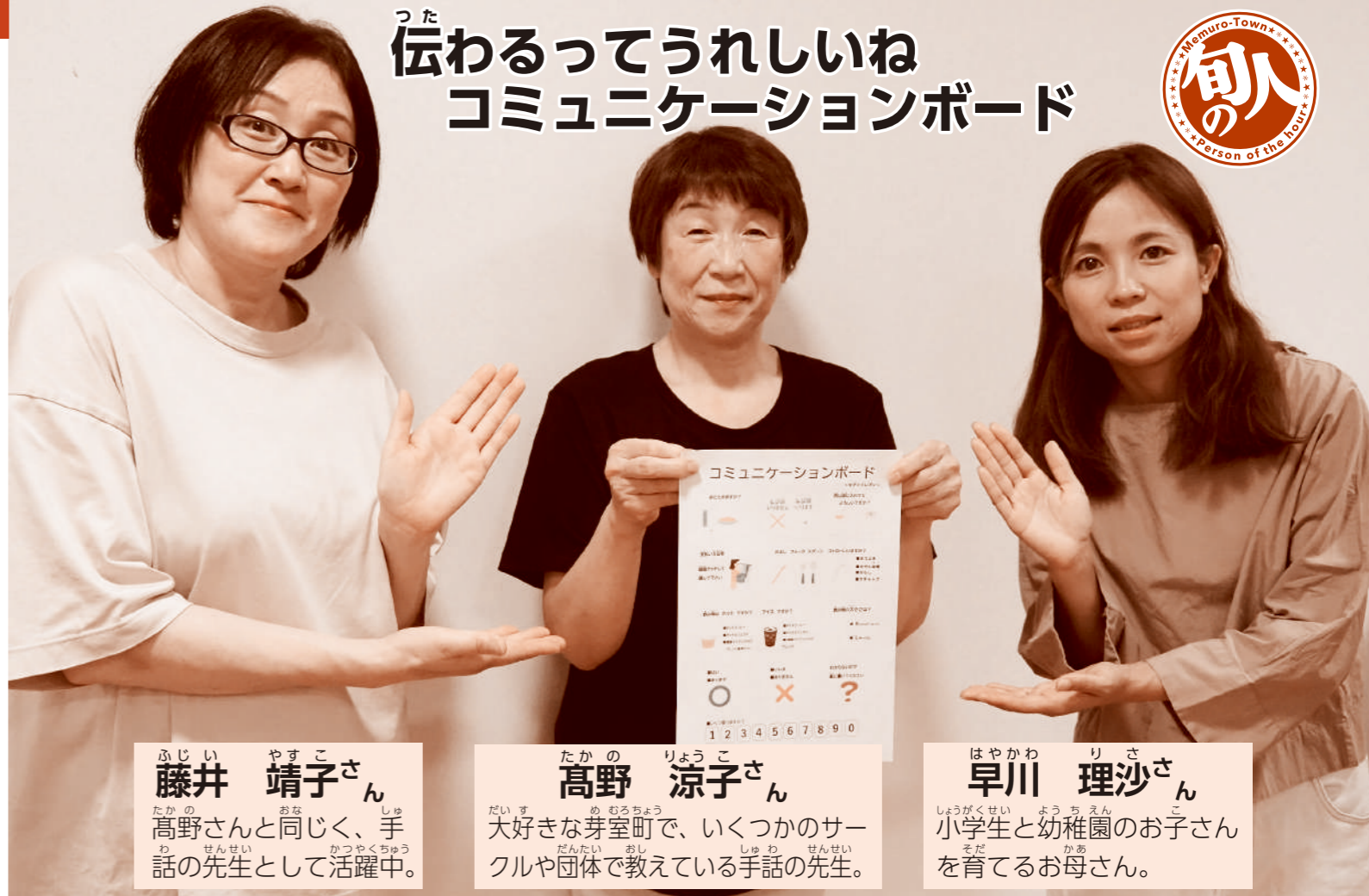
芽室町災害対策本部

地震想定の大災害対策本部訓練を実施



十勝管内で最大震度7の地震が起きたという想定で、職員が災害対策本部訓練を実施しました。当日まで、どのような規模の災害が起こるかは公開されないブラインド方式の訓練で、本番同様の緊張感の中、各部が自分たちの動きを確認しました。いつ起きるかわからない災害に備え、今回の反省点を生かし、準備を進めてまいります。

つた 伝わるってうれしいね コミュニケーションボード



藤井 靖子さん
高野さんと同じく、手話の先生として活躍中。

高野 涼子さん
大好きな芽室町で、いくつかのサークルや団体に教えている手話の先生。

早川 理沙さん
小学生と幼稚園のお子さんを育てるお母さん。

よろしく お願いします
手話「よろしく お願いします」
今回、旬の人に登場してくださったのは、ろう者で聞えない方の3人の皆さん。慣れない言葉で「よろしくお願ひします」の手話にも笑顔で応じてくださいました。
新型コロナウィルスの流行でそれまでは口元の動きで何となく相手の言わんとしていることがわかっていたのに、マスク生活が始まったことでコミュニケーションに大変苦労するようになりました。お店に行っても「店員さんは何を言っているのかな？」と私に話しかけているのかもしれない。マスク越しの問いかけが分からず困った場面がたくさんありました。また、エコバックを持参していてもレジ袋をうまく断れずに購入してしまったこともあったそうです。
発話でコミュニケーションをとっている早川さんも、いつもなら伝わる「ひとつ」という言葉が「二つ」と伝わってしまう場面も増えたと語ります。

コミュニケーションボード

このような状態が続いたことから3人はコミュニケーションボードを思いいつき、作成。イラストと文字で視覚的に意思疎通を図れるシートになっていて、これがあれば、レジ袋の有無やほしい個数など指さしでスムーズにお互いが理解することが出来ます。現在は、いつも自分たちが通っているコンビニにコミュニケーションボードを

今回作ったコミュニケーションボードはQRコードから見る事ができます。
手話「ありがとう」
お店の方など気になった方は、芽室町手話サークル「虹」田原あや子さんまで（☎090-4879-9104）

置いてもらっており、いまでは店員さんに顔も覚えてもらえ、スムーズなコミュニケーションにつながっているそうです。知って、寄り添う気持ちをお互いに自分たちの境遇や今回作ったコミュニケーションボードについて3人は自分たちが、ろうであるということは、個性の一つで特別なことではないのだけど、意思疎通がうまくいかないとともに、相手にも面倒をかけてしまうかなと思ってしまう。自分たちのように、ろうだったり、コミュニケーションが苦手だったり、高齢や小さいお子さんも、このボードがあれば安心してコミュニケーションがとれます。
「まずは、自分たちのような境遇の人がいるということとを少しでも多くの人に知ってもらえれば」
「ろう者は視覚を重視して生活しているので、目で見えるこういったツールを使えるのもとても助かります。なにより、寄り添ってくれる気持ちがある。芽室町で生活をする人にも、訪れる人にもやさしい世の中になってほしいですね」と語ってくれました。

撮影時のみマスクを外していただきました。